

3 プレゼンテーションソフトを活用した授業展開例

教科(科目)	地歴(地理A)	単元名	第1章 問題をかかえた地球
本時の主題	多くの地球的課題<プレゼンテーション> (3時間目/4時間)		
本時の目標	(1)様々な「地球的課題」に興味・関心を持ち、今後の国際社会のあり方について考えようとする態度を身につけさせる。【関心・意欲・態度】 (2)プレゼンテーションソフトを利用して、生徒一人一人が興味・関心のある「地球的課題」の調査研究で得られた結果を効果的に報告する技術を習得させる。【技能・表現】 (3)様々な地球的課題を理解するとともに、どのような対策が望まれるか、プレゼンテーションや各自の調査研究をもとに考察させる。【思考・判断】 (4)地球的課題は各課題が相互に深く関わっていることを理解するとともに、解決には先進国・発展途上国双方の利害を超えた取組が必要であることを理解させる。【知識・理解】		
指導の内容・ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価	
仲間の調査研究したテーマから様々な「地球的課題」を知る。 5分(経過時間) プレゼンテーションソフトを利用し、調査研究結果を発表することができる。 「地球的課題」について、様々な視点から理解することができる。 「地球温暖化」の原因とその影響について、理解することができる。 「オゾン層の破壊」の原因とその影響について、理解することができる。 「森林の破壊」の現状と森林の重要性を理解することができる。	「地球的課題」の確認 「研究テーマ一覧表」の資料をみて、どのような「地球的課題」があるか、みてみよう。 教 「研究テーマ一覧表」の資料を配布し、様々な「地球的課題」を確認し、本時の学習内容を知らせる。 プレゼンテーション 「パワーポイント」を利用して、調査研究の結果を発表してみよう。<代表者による発表> プレゼンテーションの視聴 代表者による発表でわかったこと、気づいたことをメモにとりながら、しっかりと聞こう。 「地球の温暖化」について ・「地球の温暖化」とは ・「地球の温暖化」の原因は ・「地球の温暖化」による影響 ・各国の対策 *発表後、質疑応答 「オゾン層の破壊」について ・「オゾン層」とは ・「オゾンホール」とは ・「オゾン層の破壊」の原因 ・「オゾン層の破壊」による影響 ・各国の対策 *発表後、質疑応答 「森林の破壊」について ・「熱帯林」の特色 ・「アマゾン開発」の現状 ・アマゾン先住民族の生活への影響 ・森林保護に対する対応策 *発表後、質疑応答	「研究テーマ一覧表」の資料を見て、自分が調査研究した以外の「地球的課題」に関心をもつことができたか。【関】 <評価方法> 発問・挙手 各自のテーマに基づいて、調査研究の結果を適切に発表することができたか。 プレゼンテーションツールを有効に使用することができたか。【技】 <評価方法> 自己評価表記入 自分の調査研究と代表者の発表とのつながりを理解しながら、発表を聞くことができたか。 著作権に関する内容を概ね理解できているか。 議論・討論を通じて、表現力説得力を養うことができたか。【技】 <評価方法> 自己評価表記入	

注1

注2
注3
注4

注5
注6

指導の内容・ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価
<p>「酸性雨」の原因と被害の状況を理解することができる。</p> <p>「人口爆発」の原因とその影響について、理解することができる。</p> <p>発展途上国の「食料問題」の現状と課題について、理解することができる。</p> <p>35分</p> <p>研究発表を比較・評価することで、「地球的課題」の概略、研究結果のプレゼン方法を振り返る。</p> <p>本時のまとめ</p> <p>学習した内容を確認し理解を深める。</p> <p>次時の予告</p> <p>50分</p>	<p>「酸性雨」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「酸性雨」とは ・「酸性雨」の原因 ・「酸性雨」の影響 ・各国の対策 <p>* 発表後、質疑応答</p> <p>「人口爆発」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人口爆発」とは ・「人口爆発」の原因 ・「人口爆発」の影響 ・先進国の人口問題 ・各国の対策 <p>* 発表後、質疑応答</p> <p>「食料問題」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食料問題」とは ・発展途上国の食料問題の現状 ・先進国の食料事情 ・世界の食料需給と今日的課題 <p>* 発表後、質疑応答</p> <p>相互評価 プレゼンテーション<研究発表>を聞き、相互評価表の各項目を5段階で評価しよう。</p> <p>相互評価項目 プレゼンテーションを聞いて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究発表の内容に関心をもって聞けたか。 ・発表者の意図を理解することができたか。 ・それぞれの「地球的課題」の概略について、理解することができたか。 <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章や表現・図表などの資料が適切・簡潔でわかりやすいか。 ・説明がわかりやすく表現が適切であるか。 <p>研究の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマとの関係に矛盾がなく研究を進めているか。 ・研究が独創的であるか。 ・発表態度はどうか。 <p>まとめ プレゼンテーションを聞いての感想をまとめ、今後の展望を考察しよう。</p> <p>【教】・「環境問題をめぐる南北の対立」というテーマでディベートを行う。</p>	<p>様々な地球的課題は、かつてのような局地的規模から地球的規模で発生しているのが特徴的であり、人類共通の課題であることを理解できたか。【知】</p> <p>地球的課題は各課題が相互に深く関わっていることを理解し、その解決には先進国・発展途上国双方の利害を超えた取組が必要であることを理解できたか。</p> <p>【知】 <評価方法> 発問・挙手・ノート記入</p> <p>評価活動に意欲的に取り組んでいるか。注7 注8 注9</p> <p>「地球的課題」の概略を理解することができたか。注10 【知】 <評価方法> 発問・挙手・ノート記入 注11</p> <p>効果的なプレゼン方法を知り自分のものにするのができたか。【知】 <評価方法> 自己・相互評価表記入 授業後、自己・相互評価表提出 注12 注13</p> <p>本時の学習内容を振り返り、「宇宙船地球号」の一員として、今後の展望を考察することができたか。 【思】 <評価方法> ノート記入 授業後、ノート提出</p>

指導上の留意点を注として別紙に示す。

地理 A

< 指導上の留意点 >

- 注 1 生徒自らが調査研究したテーマを紹介することにより、様々な「地球的課題」に興味・関心を喚起させる。
- 注 2 2 年次に履修した「情報と表現」の指導内容を予め調べ、生徒のプレゼンテーションに関する知識の程度を理解した上で、無駄のないように指導する。
- 注 3 与えられた時間内にプレゼンテーションが終了できるように、スライド・原稿などを事前にチェックし、時間が無駄にならないように指導しておく。
- 注 4 今後の授業においても随時発表させ、課題追及に対する生徒の意欲を一層高めるとともに生徒のプレゼンテーション能力を高める機会を設ける。
- 注 5 情報通信ネットワークを活用した学習実践を行うにあたり、パソコンやインターネットを使う上でのモラルやエチケットを再確認し、特に著作権については十分配慮するように指導する。
- 注 6 プレゼンテーション終了後、発表者の意見を尊重しながら、補足説明をする。
- 注 7 評価の視点<方向性・深化>を明確にしておく。
- 注 8 プレゼンテーションを行った生徒の「自己評価」も合わせて行うように指導する。
<自己評価項目>
- ・積極的・意欲的に取り組むことができたか。
 - ・クラスの生徒に理解できるように、効果的（声の抑揚・間の取り方など）に発表することができたか。
 - ・スライドの作成において、創意工夫して作成することができたか。
 - ・発表の展開に応じて、効果的なアニメーションを設定することができたか。
- 注 9 生徒自身による自己評価・相互評価をもとにして、一人一人の評価を行い、結果を今後の指導に生かす手だてを考察し、実践していく。（指導と評価の一体化）
- 注 10 様々な地球的課題は、かつてのような局地的規模から地球的規模で発生しているのが、特徴的であり、人類共通の課題であることを理解させ、今後の解決方法を考察させる。
- 注 11 地球的課題は各課題が相互に深く関わっていることを理解するとともに、解決には先進国・発展途上国双方の利害を超えた取組が必要であることを再確認する。
- 注 12 本時の学習内容を発展させ、次時は「ディベート学習」を行い、地球的課題の解決に向けて実践力を養う。
- 注 13 次時の「ディベート学習」の手順について説明し、発表者なども決めておく。
<手順>
- a) クラスを先進国の立場・発展途上国の立場・審判団に分ける。<本時>
 - b) それぞれの立場で資料（本・インターネット利用）を収集し、審判団を納得させる論理を構築する。<本時>
 - c) ディベート討論会（立論・弁論・作戦タイム・反対尋問）<次時>
 - d) 審判団判定（判定の基準・理由を明確にする）<次時>

< 単元の指導計画(全 4 時間) >

1 時間目	「地球的環境問題の出現」
2 時間目	「多くの地球的課題」プレゼンテーションの準備
3 時間目	「多くの地球的課題」プレゼンテーション(本時)
4 時間目	「地球的課題と南北問題」ディベート